

「英語史コンテンツ展覧会」報告

佐田陸 (SATA HITOSHI)
(東京外国語大学大学院)

概要

- 主催：英語史研究会
- 開催日：2020年10月31日(土)
- コンセプト：
「英語史に興味のある大学生・大学院生が英語史に関するコンテンツを「出展」し、それについて会員とともにオンラインで観賞しコメントしあう」(実施要項より)

2

概要

- コンテンツの仕様：
 - 教材風コンテンツ，語源エッセイ，英語に関する素朴な疑問への答えなど。(必ずしも学術的新奇性のあるものでもないが...)
 - 卒論生(?)や院生の研究ノート。
- 昨今，英語教育において英語史の有用性が注目されている中で，教育・学習に資するという意義も。

3

概要

- 出展件数：学部生→66件，大学院生→15件
- オンラインでコンテンツを読み合い，掲示板でコメント
- 各部門，面白かったものに投票
- 僭越ながら，報告者も
「二度＜過去→現在＞化する助動詞」というタイトルで出展，投票結果は2位(下から...)

4

なぜ、今、英語史か

• 3単現の-s

- 言語学者, 語学マニア (orヲタク)
→ 「当たり前」の人称変化 cf. ドイツ語, フランス語...
- 日本語しか知らない中高生学習者
→ 「何で, he/sheが主語だと-sが付くの？」 cf. 日本語

昔は, youとかtheyとかが主語の時にも動詞に付く別個の部品があったんだよ

5

なぜ、今、英語史か

• 助動詞の不可解な特徴(報告者のコンテンツより)

- なぜ, 3単現の-sが付かないのか?
- なぜ, 動詞の原形を一緒に使うのか?
- なぜ, be動詞の文と同じような疑問文・否定文の作り方ができるのか?
- なぜ, 過去形のあるものとないものがあるのか?

など

6

なぜ、今、英語史か

• 過去現在動詞

- 古英語以前に過去形であったものが現在形として再解釈され, 新たに別の過去形が作られた類の動詞(橋本2005: 139)
- 現代英語の助動詞can, may, must, shall, ought
 - canの<過去→現在>化
原義は 'to have learned, come to know' (寺澤1997: 190)
「過去に知るところとなった」→<だから>→「今現在知っている」

7

なぜ、今、英語史か

• 過去形のある助動詞

- can > could, may > might, shall > should
- 新たに過去形を作った

• 過去形のない助動詞

- must > × (had to do), ought > × (ought to have done)
- なぜ?

8

なぜ、今、英語史か

- must, oughtに過去形がないのは...

それ自体が、新たに作られた過去形だったから！

- 古英語 : mōt > mōste (⇒ must), āh > āhte (⇒ ought)
 - You must keep silent in the library.
「図書館では私語はつしまなければなりません」 (綿貫他2002: 443)
 - We ought to live within our means.
「我々は収入相応の暮らしをすべきだ」 (綿貫他2002: 447)

9

なぜ、今、英語史か

- つまり, must, oughtは...

<過去→現在>化を二度経ている！

	現在形	過去形
ゲルマン	—	*mōtan, *aiþan *skal-/skul-
古英語	mōt, āh sceal	mōste, āhte scolde
現代英語	must, ought should	—

10

なぜ、今、英語史か

- 堀田隆一 (2016) 『はじめての英語史：英語の「なぜ？」に答える』 東京：研究社.
- 朝尾幸次郎 (2019) 『英語の歴史から考える英文法の「なぜ」』 東京：大修館.
- 清水建二・すずきひろし (2018, 2019) 『英単語の語源図鑑：見るだけで語彙が増える』 東京：かんき出版.

11

コンテンツの紹介

- 学部生部門
 - ○ I go visit her. × He goes visit her. ? I'm going visit her.
Go Get構文の使用における変異
- 大学院生部門
 - 私と英語とマッチングアプリ
 - Soについて話しまソウ！

12

Go Get構文の使用における変異

- Go Get構文
 - 1つの節に動詞が連続して現れる特殊構文
 - goやcomeなどの動詞に動詞の原形が続く形 (一種のserial verb construction)
 - V1, V2ともに一切の形態変化があってはならないという制約 (bare-stem-condition)

13

Go Get構文の使用における変異

- Go Get構文の例 (Carden and Pesetsky 1977より)
 - I go visit Harry every Thursday.
 - John managed to go visit Harry last week.
 - * John went visit Harry yesterday.
 - * Going see Harry was probably a mistake.
- 報告者註：日本語的には「～しに行く」ほどの意

14

Go Get構文の使用における変異

- Go Get構文の他の制約 (Shopen 1971より)
 - 有生物 (有意志) の主語しか許容しない
 - V2が [source] を表す場合は許容されない
 - They deliberately go occupy the land.
 - * They deliberately go vacate the land.
(vacate 「～を立ち退く」 ← [source] の意味)

15

Go Get構文の使用における変異

- 実態としては、bare-stem-conditionに反する例が見られる
- さらにはその使用が増えている
- どのような場合にこれが起こるのか
- 制約に反すると意味はどうなるのか
- 英米差はみられるのか

16

Go Get構文の使用における変異

形	用例数
went get	0
go get	25
gone get	25
gone got	4
going get	103
goes get	2
goes gets	6
go gets	6

- COCA (Corpus of Contemporary American English) による簡易調査の結果でも、going getという形が多数見られた

17

コンテンツの紹介

- 学部生部門
 - ○ I go visit her. × He goes visit her. ? I'm going visit her.
Go Get構文の使用における変異
- 大学院生部門
 - 私と英語とマッチングアプリ
 - Soについて話しまソウ！

18

私と英語とマッチングアプリ

- 「魅力」と「引力」にあふれる英語の歴史
 - 「ある人がある人に引きよせられる、または、あるモノが別のモノに引きよせられることをあらかず単語は英語の中にいろいろあります。1つ1つそうした単語の歴史をたどってみると、そのとき人は何に引かれていたのか、その引き合う力をどのように見ていたのかを知ることができます。」
- electric, gravity, attractionの語源を紐解く

19

私と英語とマッチングアプリ

- electric 「電気の」
 - ギリシア語のηλεκτρον [ēlektron] 「琥珀」がもと
 - 「琥珀」はこすると静電気が発生する
 - この特徴になぞらえて「ある物体がこすられたときに生じる、ほかの物体を近くに引きよせる性質」の意を獲得
 - 18c, ベンジャミン・フランクリンの電気の実験以後「電気」の意

20

私と英語とマッチングアプリ

- gravity 「重力」
 - 元来は「graveな状態」＝「重い状態、深刻な状態」
 - ニュートンが「重力」を発見した後、gravityがその意を獲得
 - gravitate 「～に引きよせられる」が
 - 重力により地球の中心に物体が引っ張られるように、中心となるものへ引き寄せられる、ということの意味する。
 - A king ... is the center towards which all business gravitates.

21

私と英語とマッチングアプリ

- attraction 「魅力、引力」
 - 元来、食べ物を体に取り込むという意で使われた
 - Attraction is a ministering faculty, which as a loadstone doth iron, draws meat into the stomach, or as a lamp does oil. (OEDより)
 - gravity 「重力」の初例が出た文献にattraction 「引力」の例
 - Attraction is an Operation, or Virtue, or Influence of distant Bodies upon each other through an empty Interval...

22

私と英語とマッチングアプリ

- attraction 「魅力、引力」
 - 物理学界以前に「引力」という意で使い始めたのは、かのシェイクスピアだった
 - The sun's a thief, and with his great attraction, robs the vast sea.
(『アテネのタイアモン』より)

23

私と英語とマッチングアプリ

- attraction 「魅力、引力」
 - さらに、シェイクスピアは、人とモノ、モノとモノを引き寄せる意であったこの語を、惹かれ合う人どうし、あるいは人が人を引き付ける魅力に当てはめた。
 - 人の魅力的な性質という人間的意味を与えた。
 - She, questionless, with her sweet harmony and other choice attractions, would allure. (『ペリクリーズ』より)

24

私と英語とマッチングアプリ

- 英語史はマッチングアプリ

「英語史はわたしとアングル人、もっと広く言うとインド・ヨーロッパ語族の人たちを引き合わせてくれるマッチングアプリそのものなのです」

25

コンテンツの紹介

- 学部生部門
 - ○ I go visit her. × He goes visit her. ? I'm going visit her.
Go Get構文の使用における変異
- 大学院生部門
 - 私と英語とマッチングアプリ
 - Soについて話しまソウ！

26

Soについて話しまソウ！

- not so ... asの謎に迫る
 - 英語の授業で習う原級比較as ... as
 - 否定形not as ... asはしばしばnot so ... asとなる
 - as < all + so (=also, *als*) < OE: *eall swa*
→このようにasとsoが同語源であることと大いに関係
- なぜ、as ... asとso ... asと両方存在するのか？

27

Soについて話しまソウ！

- 古英語の例
 - *gif þin hige wære, sefa swa searogrim, swa þu self talast;*
gif þin hige wære
if 2SG.NOM spirit be.SBVJ.PST.SG
sefa swa searogrim swa þu self tal-ast;
mind so fierce so 2SG.NOM self reckon-IND.PRS.2SG
「もしも其許の心が、自ら言い張られるがごとくに勇猛であったならば」
(*Beowulf*より)

28

Soについて話しまソウ！

• 古英語の例

- *Seo beorhtnys is eallswa eald swa ðæt fyr þe heo of cymð.*

seo beorhtnys is eallswa eald swa
 that.F.NOM brightness.F be.IND.PRS.3SG also old so
 ðæt fyr þe heo of cym-ð
 that.N.NOM fire.N REL 3SG.F.NOM from come-IND.PRS.3SG

「その輝きはそれを発する炎のごとく古い／目立つ」

(Ælfric *Catholic Homilies: 1st Ser.* (Royal) (1997) xx. 337)

29

Soについて話しまソウ！

• 中英語の例

- *Also oft so he wolde, þat game she refuse nolde.*

also oft so he wolde,
 also often so 3SG.M.NOM will.PST
 þat game she refuse ne+wolde.
 that game 3SG.F.NOM refuse.INF NEG+will.PST

「彼が望んだのと同じくらい、彼女は獲物を逃がしたくなかった」

(c1400 (?a1300) *Kyng Alisaunder* (Laud) (1952) l. 395 (MED))

30

Soについて話しまソウ！

• 中英語の例

- *Als longe as owre lyf lasteth.*

als longe as owre lyf last-eth.
 also long as our life last-IND.PRS.3SG

「我らの命ある限り」

(c1400 (?c1378) W. Langland *Piers Plowman* (Laud 581) (1869) B. iv. l. 195)

31

Soについて話しまソウ！

• 中英語の例

- *þenne schale þe husbonde als blyue Teche & preche so hys wyue.*

þenne schale þe husbonde als blyue Teche
 then shall.IND.PRS.3SG DEF husband also actively teach.INF
 and preche so hys wyue.
 and preach.INF so his wife

「夫は妻と同じくらい熱心に説教をするだろう」

(a1450 (?a1390) J. Mirk *Instr. Parish Priests* (Claud.) (1974) l. 394)

32

Soについて話しまソウ！

• 中英語の例

- *Also seke as she was.*

also seke as she was
also sick as 3SG.F.NOM be.PST.3SG

「彼女と同じくらい苦しんで／彼女と同様、病気で」

(1485 W. Caxton tr. *Paris & Vienne* (1957) 53)

33

Soについて話しまソウ！

- as ... as / so ... as以外の組み合わせ方もあった！

• 西ゲルマン語群 (so ... as型)

- ドイツ語 : *Er ist (eben) so reich als du.* (He is as rich as you.)

cf. *Er ist so groß wie du.* (He is as tall as you.) の方が普通

- オランダ語 : *Hij is zo groot als zijn broer.* (He is as tall as his brother.)

- 西フリジア語 : *Sy is sa grut as ik.* (She is as tall as I)

34

Soについて話しまソウ！

• 大陸北ゲルマン語群 (somは西と語源違い)

- デンマーク語 : *så stor som elefant* (as big as elephant)
- スウェーデン語 : *Han är så lång som en humlestör.* (He is as tall as a hop-pole.)

• 離島北ゲルマン語群 (西とも大陸とも違う)

- アイスランド語 : *Hann er eins stór og þú.* (He is as tall as you.)

• 現代英語のas ... asはゲルマン語派内では珍しい

35

Soについて話しまソウ！

- soとasは歴史上様々な組み合わせられてきた
- 現代英語ではas ... asを標準に、so ... asの使用は限定的
- これもまた2020年現在の状況に過ぎず、将来的にはまた変わるかもしれない

36

参考文献等

- 寺澤芳雄 (1997) 『英語語源辞典』 東京：研究社.
- 橋本功 (2005) 『英語史入門』 東京：慶応義塾大学出版会.
- 綿貫陽・宮川久幸・須貝猛敏・高松尚弘 (2002) 『ロイヤル英文法』, 改訂新版. 東京：旺文社.
- The Oxford English Dictionary. <https://www.oed.com/>
- Carden, Guy and David Pesetsky (1977) Double-verb constructions, markedness, and a fake co-ordination. *CLS* 13: 82-92.
- Shopen, Timothy (1971) Caught in the act. *CLS* 7: 254-263.

37

ご清聴ありがとうございました

38